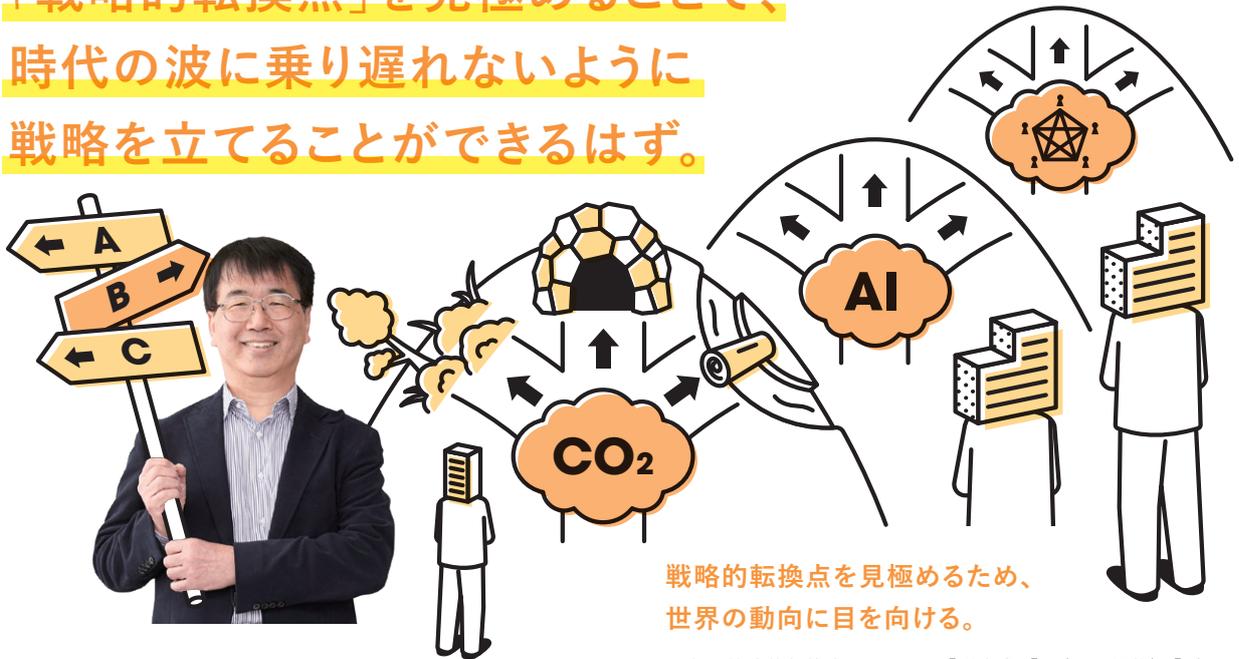




「時代の波」に乗るために
必要なことは？



「戦略的転換点」を見極めることで、
時代の波に乗り遅れないように
戦略を立てることができるはず。

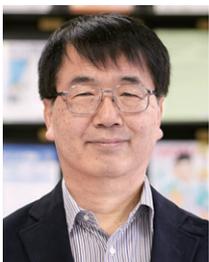


戦略的転換点を見極めるため、
世界の動向に目を向ける。

組織の成功の鍵は、いかにはやく
戦略的転換点に気づき、舵を切ることができるか。

19世紀の産業革命や、インターネットの登場による情報化社会の到来。人類はこれまで、今までの常識が根底から覆るような大きな節目をいくつも経験してきました。このような節目は「戦略的転換点」と呼ばれています。それぞれの戦略的転換点がおよぼす影響の大小などはさまざまですが、企業や自治体などの組織は、この戦略的転換点にいかにか早く気づき、舵を切ることができるかが重要です。たとえば、iPhoneの登場により、一気に普及していったスマートフォン。それまでの日本製の携帯機種が「ガラケー（ガラバゴス化したケータイ）」と呼ばれるようになったことからわかるように、日本の携帯電話メーカーにとって、iPhoneの登場は、大きな戦略的転換点であったことは間違いありません。この転換点をいち早く意識して、これまでのガラケーに固執せず、スマートフォン開発に着手できたかが、携帯電話メーカーの生き残りを大きく左右したはずですが。

現在の戦略的転換点として、私は「脱炭素」「AI（人工知能）」「ブロックチェーン」の3つに着目しています。「脱炭素」については、2015年、約200カ国が参加する国際会議で採択されたパリ協定が大きな転換点。「地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量を実質的にゼロにしていく」というこの協定を受け、世界の企業や自治体が、脱炭素に向けての取り組みを一気に加速させています。さらに、脱炭素をかかげる企業は、金融機関や投資家から優遇され、100%再生可能エネルギーを利用している企業としか取引しない企業が現れるなど、世界はすでにそこまで舵を切っています。その他の2つについても見過ごせません。AIの登場は、これまで人がしていた仕事をAIが代わりに行う社会を、仮想通貨の取引管理に利用されている「ブロックチェーン技術」は、金融はもちろん、あらゆる取引のあり方を大きく変える未来を予見させます。「戦略的転換点」を見極めるためには、このように世界の動向にアンテナをはって、あらゆることに目を向けることが重要です。



西山 賢一 先生

Kenichi Nishiyama

大学院生のとき、パソコンが世間に一気に普及していく情報化革命の波に直面しました。そこで「大きな変革期を迎えたとき、社会はどう動いていくのか」について考え出したのが、今の研究テーマに取り組んだきっかけ。新しいものの好きの私にはピッタリのテーマです。

私の
宝物



19世紀のミュルーズの産業史

フランスの都市「ミュルーズ」の19世紀の様子が記された産業史。イギリスでおこり、徐々に全世界に広まっていった産業革命ですが、この本を見ていると、ミュルーズがいち早く「戦略的転換点」に気づき、産業革命の波をとらえていたことが良くわかります。